

No.	014	—	2001	事務事業名	人・農地プラン作成事業			細事務事業名				公的関与	1		
PLAN	課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし				
	総合計画	政策目標 第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農林業の振興			主要施策 (3) 担い手の育成・確保						
	事業の対象	市内全域の農家						根拠法令	人・農地プラン及び青年就農給付金検討会設置要綱						
	事業の目的	最終的	地域における農業経営や集落営農の話し合いに基づき、地域における人と農地の関係を明確にするため、地域の農業の5年～10年先を見据えた中長期計画を定め、持続可能な地域農業の確立を図ります。					今年度	市内6地区のプランを更新します。						
	活動内容	①	地域における担い手の確保状況の確認・地域農業の将来について話し合いを行い、プランの更新原案を作成します。					④							
		②	新規就農者、離農者等情報の更新を行います。					⑤							
		③													
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標				
				事務の性質上、指標設定になじまない。			目標								
					実績										
					目標										
					実績										
DO	予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業					費		
	直接事業費			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備考								
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源		20 千円	15 千円	80 千円									
	計(A)		20 千円	15 千円	80 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	601 千円	0.100 人	613 千円	0.100 人	624 千円							
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		621 千円		628 千円		704 千円								
CHECK・ACTION	一次評価者	農林振興係		総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	地域の農業の現状と将来について地元農家が話し合う重要な場です。													
	有効性	地域の農業の現状と将来について地元農家が話し合う重要な場です。													
	達成度	人の出入りの更新のみで、満足な話し合いの場を持っていません。													
	効率性	各地域ごとに話し合いの場を設定しなければなりません。													
	当面の課題	作成してから6年程度経過し、実態にそぐわなくなっており、国からプランの実質化を早急に求められています。													
	改訂計画	農業委員等を通じ各地区の関係者において話し合いの場を設け、プランの実質化を推進します。													
	二次評価者	農林振興課長		総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
	二次評価での指摘事項	人・農地プランを地域農政計画の一丁目一番地としてとらえ、プランの充実を図ってください。													

No.	014	—	2004	事務事業名	中山間地域等直接支払事業	細事務事業名		公的関与	9					
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	平成 27 年度	～ 令和 元 年度					
	総合計画	政策目標	第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農林業の振興		主要施策	(5) 農業生産基盤の充実					
	事業の対象	一定の基準を満たす中山間地域の農地を対象とし、集落協定に基づき5年間以上継続して農業生産活動を行う農業者等				根拠法令	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律							
	事業の目的	最終的	担い手の育成等による農業生産活動の維持を通じて、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保することを目的とします。			今年度	制度を活用した耕作放棄地の発生防止、地域・集落の活性化、将来に向けた農業生産活動等の継続的な実施が図られるように、集落に対し支援を行います。							
	活動内容	①	集落協定に基づく耕作放棄地の発生防止活動支援			④	集落協定に基づく体制整備に向けた積極的取組の支援							
		②	集落協定に基づく水路・農道等の維持管理活動支援			⑤								
		③	集落協定に基づく多面的機能増進活動支援											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標				
				業務の性質上、指標設定になじみません。		目標								
				実績										
				目標										
				実績										
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業		費						
	直接事業費		平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備考								
		国・県支出金	66,327 千円	66,328 千円	66,545 千円									
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源	0 千円	33 千円	168 千円									
		一般財源	22,709 千円	22,699 千円	22,751 千円									
	計(A)	89,036 千円	89,060 千円	89,464 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.682 人	4,100 千円	0.682 人	4,181 千円	0.682 人	4,256 千円						
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		93,136 千円	93,241 千円	93,720 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	中山間地域は平地に比べ、農業の生産条件が不利な地域であり、農用地を維持・管理していくためには本制度が必要です。												
	有効性	本制度を活用し、各集落において活性化を図る多様な活動が行われており、また、集落内で協力することで耕作放棄地の発生が防止されています。												
	達成度	本制度を活用した耕作放棄地発生防止活動、水路・農道の維持活動等が各集落において行われています。												
	効率性	本制度の交付金は国が1/2、県が1/4を負担しており、一般財源に対する負担が大きく抑えられています。												
	当面の課題	対象とする中山間地域の高齢化が進んでおり、集落によっては積極的な活動が困難になりつつあります。												
	改訂計画	担い手の育成等が図られるよう、集落に対し積極的に働きかけていきます。												
	二次評価者	農林振興課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
	二次評価での指摘事項	次期協定移行の支援をしっかりと行い、条件不利地の中山間地域における農村を守ることは重要ですので、引き続き支援を行ってください。												

No.	014	—	2014	事務事業名	農村環境改善センター維持管理事業	細事務事業名		公的関与	6
-----	-----	---	------	-------	------------------	--------	--	------	---

PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp							
	事業区分	施設の維持管理	事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし							
	総合計画	政策目標 ※ 該当なし		政策項目	主要施策										
	事業の対象	農村環境改善センター及び施設利用者			根拠法令	東温市農村環境改善センター条例及び同条例施行規則									
	事業の目的	最終的	農林業の振興及び生活環境の改善、農村の環境整備を効果的に推進するために、本施設の適切な維持管理に努めます。			今年度	建築後30年が経過するため、施設の劣化状況を把握する調査を行います。								
	活動内容	①	施設利用予約管理			④									
		②	施設の総合管理事務(設備保守点検、清掃委託、経常的経費等)			⑤									
		③	施設の修繕業務												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標					
				業務の性質上、指標設定になじみません。		目標									
				実績											
				目標											
				実績											
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費						
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考							
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	421 千円		466 千円		1,026 千円								
		一般財源	1,148 千円		2,820 千円		1,917 千円								
	計(A)	1,569 千円		3,286 千円		2,943 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.250 人	1,503 千円	0.250 人	1,533 千円	0.333 人	2,078 千円							
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)	3,072 千円		4,819 千円		5,021 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	農林振興係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	3	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	現在は、社会福祉協議会の事務所として利用されているため、管理者として最低限の施設の維持管理は必要不可欠です。													
	有効性	現在の社会福祉協議会の事務所としての施設利用は、施設建築当初の利用とは異なるため、冷暖房効率の悪さ等、使い勝手の不備が生じています。													
	達成度	社会福祉協議会以外の利用頻度は少ないため、農村環境の改善という目標はあまり達成できていません。													
	効率性	施設の老朽化に対する長寿命化、事務所利用を想定した場合の全体改修費用は、多額となる見込みです。													
	当面の課題	劣化状況調査の結果、指摘された事項の改善と事務所利用を想定した改修を行う場合、多額の改修費用がかかる恐れがあります。また、社会福祉協議会の移転後にどのような施設利用をするのか、農村環境の改善という観点を踏まえて見直す必要があります。													
	改計画	社会福祉協議会移転後にどのような施設利用の要望があるか調査を行い、活用方法を踏まえた内部改修案を検討していきます。													
	二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実	
	二次評価での指摘事項	空き施設となることを踏まえ、利活用計画、建物の長寿命化計画を立ててください。													

No.	014	—	2089	事務事業名	環境保全型農業直接支援事業	細事務事業名		公的関与	9				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農林業の振興		主要施策	(1) 農業振興施策の総合的推進				
	事業の対象	農業者の組織する団体				根拠法令	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律						
	事業の目的	最終的	環境保全に効果の高い営農活動を支援し、地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献します。			今年度	今年度から新たに交付要件となったGAP認証への取組みについて、実施する内容や提出する書類の作成の仕方を農業者に対してわかりやすく説明します。						
	活動内容	①	環境保全型農業直接支払交付金実施要綱に基づき、補助金の交付事務を行います。			④							
		②	活動組織の事業計画の認定を行います。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業		費					
	直接事業費			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備考						
		国・県支出金	192 千円		0 千円	0 千円							
		地方債	0 千円		0 千円	0 千円							
		その他特定財源	0 千円		0 千円	0 千円							
		一般財源	68 千円		0 千円	0 千円							
	計(A)	260 千円		0 千円	0 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.250 人	1,503 千円	0.104 人	638 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)	1,763 千円		638 千円	0 千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	D	必要性	3	有効性	3	達成度	1	効率性	4	今後の方向性	廃止/休止
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	取組みを実施する団体がなくなり、次年度以降の要望もありません。												
有効性	取組みを実施する団体がいないため事業を継続しても成果の向上は期待できません。												
達成度	取組み予定であった団体が、事業計画を廃止したことにより、実施する団体がなくなりました。												
効率性	国の補助制度によって実施している事業ですが、条件が厳しくなったことで農業者の負担が大きくなりました。												
当面の課題	GAP認証の取組みについては、県と協力して活動組織に対して説明会等も開きましたが、毎年変わる制度についていけないということで、今年度で事業計画を廃止することになりました。 国の制度による事業のため、制度が存続している限り、廃止することは難しいと思いますが、新たな要望がない内は、休止するほかないと思われま。												
改革計画	新たに取り組みたいという団体が出てきた場合は、制度や手続きについてわかりやすく説明し、活動組織が円滑に事業を進めることができるようサポートしていきます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	多様な営農のあり方として、環境を重視した取組みは重要ですので啓発をしてください。												

No.	014	—	2108	事務事業名	次世代ファーマーサポート事業	細事務事業名		公的関与	9						
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp							
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	平成 29 年度 ~ 期間設定なし						
	総合計画	政策目標	第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農林業の振興		主要施策	(3) 担い手の育成・確保						
	事業の対象	就農後5年以内かつ就農時に満45歳未満の新規就農者				根拠法令	東温市次世代ファーマーサポート事業費補助金交付要綱								
	事業の目的	最終的	新規就農者の確保・育成を図り、地域農業の担い手とします。			今年度	JA等が実施する新規就農者の経営開始時に必要な農業用機械や施設の導入を支援します。								
	活動内容	①	次世代ファーマーサポート事業費補助金交付要綱に基づき、補助金交付事務を行います。			④									
		②				⑤									
		③													
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標					
				業務の性質上、指標設定になじみません。		目標									
				実績											
				目標											
				実績											
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業		費							
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考							
		国・県支出金	1,833 千円		5,202 千円		4,894 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円								
		一般財源	917 千円		2,601 千円		2,447 千円								
	計(A)	2,750 千円		7,803 千円		7,341 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.124 人	745 千円	0.124 人	760 千円	0.124 人	774 千円							
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)	3,495 千円		8,563 千円		8,115 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	新規就農者の確保・育成を進めるために必要な事業です。													
	有効性	JAが主体的に事業を実施しており、新規就農者を積極的に支援する体制づくりが進んでいます。													
	達成度	本事業で支援した新規就農者の定着が進んでおり、着実に地域農業の担い手となりつつあります。													
	効率性	県・市・JAが協調して事業を実施しており、円滑に事業が実施されています。													
	当面の課題	平成29年度より東温市次世代ファーマーサポート事業に継続して新規就農者の支援を行っています。本事業を含め、総合的に新規就農者を支援する体制づくりが進めば、地域農業の担い手の確保がより進むと思います。													
	改 革 計 画	県・市・JAが協調して当事業を円滑に推進してまいります。													
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実		
二次評価での指摘事項	青年農業者の初期の経営リスクをカバーし、経営を軌道に乗せるための制度であるため、引き続き支援してください。														

No.	014	—	2109	事務事業名	認定農業者経営改善支援事業	細事務事業名		公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	---------------	--------	--	------	---

PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	平成 30 年度	～	令和 2 年度				
	総合計画	政策目標	第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農林業の振興		主要施策	(3)担い手の育成・確保				
	事業の対象	地域農業を担う認定農業者				根拠法令								
	事業の目的	最終的	認定農業者の経営規模拡大を促し、地域農業の維持・発展を図ります。			今年度	要望のあった認定農業者に対し、農業用機械等の購入支援を行います。							
	活動内容	①	認定農業者の農業経営効率化のため購入した農業用機械等に対し補助を行います。			④								
		②				⑤								
		③												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標			
				事務事業の性質上、指標設定になじまない。			目標							
					実績									
					目標									
					実績									
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業			費				
	直接事業費			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備考							
		国・県支出金		3,863 千円	6,128 千円	7,500 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源		1,929 千円	2,384 千円	2,500 千円								
	計(A)		5,792 千円	8,512 千円	10,000 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.120 人	721 千円	0.120 人	736 千円	0.120 人	749 千円						
臨時職員工数・経費		0.014 人	28 千円	0.014 人	28 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		6,541 千円		9,276 千円		10,749 千円								
CHECK・ACTION	一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	農業用機械を導入することは認定農業者の農業経営効率化のため必要です。												
	有効性	農業用機械の導入・更新は農業者にとって大きな負担であるので、負担軽減に大きく役立っています。												
	達成度	要望は多いが、条件が厳しい上、予算の割り当ても少なく、要望通りの支援はできていません。												
	効率性	条件が厳しくなったことで、利用できる認定農業者が少なくなりました。												
	当面の課題	認定農業者の確保・育成は重要であり、認定農業者経営発展支援事業は県単独事業の実施に併せて行う事業です。市としても、認定農業者が少ない地域では更なる担い手の確保・育成が急務であるため、事業を推進する必要があります。												
	改 革 計 画	県と市の協調補助であることから、県に対し補助件数を増やすよう要望します。												
	二次評価者	農林振興課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
	二次評価での指摘事項	担い手の確保は最重要課題でありますので、積極的に事業を展開してください。												

No.	014	—	2125	事務事業名	農業次世代人材投資事業	細事務事業名		公的関与	9					
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	平成 24 年度 ~ 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農林業の振興		主要施策	(3) 担い手の育成・確保					
	事業の対象	新規に農業を始めようとする方。独立・自営就農時の年齢が原則45歳未満であること。				根拠法令	東温市農業次世代人材投資資金交付要綱							
	事業の目的	最終的	持続可能な力強い農業の実現に向け、担い手の確保を図ります。			今年度	新規就農する青年等に対し、農業を始めてから経営が安定するまで、最長5年間、最大年額150万円を支給します。							
	活動内容	①	青年等就農計画の内容について審査等を行います。			④								
		②	交付対象者へ農業次世代人材投資資金を交付します。			⑤								
		③	交付期間内及び交付期間終了後5年間、就農状況の確認を行います。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標				
				業務の性質上、指標設定になじみません。		目標								
				実績										
				目標										
				実績										
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費					
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考						
		国・県支出金	11,250 千円		12,125 千円		17,250 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
		一般財源	0 千円		0 千円		0 千円							
	計(A)	11,250 千円		12,125 千円		17,250 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.199 人	1,196 千円	0.199 人	1,220 千円	0.199 人	1,242 千円						
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)	12,446 千円		13,345 千円		18,492 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	経営を開始したばかりの新規就農者は、経済的に不安定であるため、特に支援する必要があります。												
	有効性	各地域での農業の担い手として期待される青年就農者への給付金の交付は、農業用機械の購入等、営農環境の整備に有効に活用されています。												
	達成度	給付を終えた後も、就農者は地域農業の担い手として活躍することが期待されます。												
	効率性	国の制度に基づいて実施しており、就農者の経営に影響のないよう遅滞なく給付を行います。												
	当面の課題	農業技術が未熟であったり、施設等の設備が不十分であるなど、新規就農者特有の問題があり、交付期間終了後の農業経営の安定に課題があります。												
	改 革 計 画	各関係機関が協力して、資金面も含めた施設整備や営農指導による支援を行います。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	担い手の確保は最重要課題であり、資金面・技術面両面を支援し、担い手の育成を図ってください。													